3.11大震災　鎮魂・追悼の行事　各地域で

東日本大震災北上市追悼式

市主催の追悼式は11日、北上駅前のいわて連携復興センターで行われました。式には約100人が参加。被災者を代表して、陸前高田市出身の佐々木敏さんは「４月から北上市に移って第３の人生を始め、一年間皆さんの温かさに触れてきた。これから全員が飛び立つまで支援をお願いしたい」とあいさつ。スクリーンで放映した国主催の追悼式に合わせ国歌斉唱、被災地に向かって黙とうがささげられ、犠牲者を弔いました。また、会場入り口では献花が行われました。

支援への感謝と今後の決意を述べる佐々木敏さん

二子地区交流センター前でともされた夢灯り

地域の夢灯り供養

二子町振興協議会主催の夢灯り追悼供養は午後６時から、二子地区交流センター前広場で開催されました。参加者は手作りの夢灯りをともし、合掌。二子鬼剣舞が鎮魂の舞を演じました。同協議会では家庭での夢灯りも呼び掛け、町内一斉の供養行事を実施しました。

黒岩地区では黒岩まんなか広場をメーン会場に「絆のつどい」夢灯り、黒沢尻北地区の避難住宅では夢灯りを行うなど、地域や市民団体がイベントを開催。これまでの一年を振り返り、祈る一日となりました。

新一年生へ防犯グッズ

防犯ブザーなどを贈呈

北上市、北上市防犯協会・北上市地域安全推進市民会議および北上市交通安全対策協議会は１日、来年度小学生となる園児へ防犯ブザー、ランドセルカバー各900個を贈呈しました。市長応接室で行われた贈呈式では、立花保育園の三上麻弥さんが新入生を代表してランドセルカバーを受け取り、「道路を歩くときは車や自転車に注意します」とあいさつ。また、サトーホールディングス(株)北上工場から交通安全シールが贈られ、防犯への注意を呼び掛けていました。

阿部敬一北上工場長から交通安全シールを受け取る園児たち

生活の技と知恵を磨きながら50年間活動が続いたことを祝う式典

衣食住改善から半世紀

生活研究グループ50周年

北上地方生活研究グループ連絡協議会の創立50周年を記念して２月29日、江釣子地区交流センターで記念式典と祝賀会が開かれました。

同協議会は昭和35年、衣食住の改善、農村のよりよい暮らしなどを求め、生活改善グループとして発足。平成13年に活動内容が見直され、現在の名称に改めて地産地消につながる産直をメーンに活動しています。小笠原キヨ会長は「古いものに新しいものを取り入れながら活動していきたい」と意欲を述べていました。

まちづくりの指導役に

地域リーダー養成塾

財団法人地域活性化センター主催の第24期全国地域リーダー養成塾に、昆野晴香さん(口内町)の入塾が決まり８日、髙橋市長を表敬訪問しました。

同養成塾は、積極的・主体的に行動できる地域のリーダーを養成するもの。昆野さんは浮牛城まつりの大名行列に女性で初参加するなど、地域事業へ積極的に参加していることから、塾生として市が推薦。北上市からは初めての塾生です。５月から来年２月まで、全国の塾生と共に地域づくりについて幅広く学びます。

地域リーダー養成塾の塾生に決まり、髙橋市長に意欲を見せる昆野さん(左)

すぐれた人材を輩出し、惜しまれながら迎えた定時制閉課程式典

働きながら学ぶ場に幕

黒沢尻工業高定時制課程

県立黒沢尻工業高校の定時制課程が閉じられることとなり３日、同校で閉課程式典が行われました。式には全日制在校生と定時制最後の卒業生７人のほか、関係企業などが出席。三浦俊哉校長は「卒業生が産業などの各分野で活躍しているのは本校の誇り」と、これまでの業績をたたえました。同課程は昭和19年、県立黒沢尻第二工業高校として開校。働きながら学びたいという向学心に応えてきましたが、志願者の減少などにより今月をもって68年の歴史に幕を下ろします。

百歳を迎えおめでとう

菊池ミネさん(堤ヶ丘)

ミネさんは明治45年３月12日生まれ。故孝治さんとの間に子ども５人をもうけ、孫10人、ひ孫15人、やしゃご１人に恵まれています。祝う会は12日、老人保健施設北上きぼう苑で行われ、髙橋市長から祝い状と記念品が手渡されました。性格が温厚で笑顔を絶やさないミネさんの趣味は踊りで、温泉旅行や敬老会などでよく踊ったそうです。家族や施設職員からの祝福に、手を合わせ「ありがとう」と笑顔で応えていました。

菅野輝子さん(口内町)

輝子さんは明治45年２月29日生まれ。故肇さんとの間に子ども７人をもうけ、孫12人、ひ孫９人に恵まれています。祝う会は２月29日、地域の公民館で開かれ、髙橋市長、区長をはじめ地区民が祝いました。嫁いでから農業に励み、婦人会の役員も歴任。現在は一人暮らしですが、自分で食べる分は作り、家事もこなすそうです。明るく元気な輝子さんは、「輝子ばあさん」の愛称で近所から慕われています。

阿部タケさん(鬼柳町)

タケさんは明治45年２月23日、双子で生まれました。故定次郎さんとの間に子ども３人をもうけ、孫８人、ひ孫13人、やしゃご１人に恵まれています。祝う会は２月24日、入所している特別養護老人ホーム敬愛園で開かれ、髙橋市長や家族が駆け付け、入所者と一緒に祝いました。タケさんは、農業一筋の頑張り屋。節目を大切にする人で、孫娘の成人式には一人一人に着物を買ってあげたそうです。